

<かんしょ> ネコフセンチュウ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ネマキック粒剤	I:1B	植付前	1回	全面土壌混和 全面土壌混和 1)全面処理:耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2)作条処理:は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
ネマトリンエース粒剤	I:1B	苗床植付前	1回	
DC油剤	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	
D-D	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	1)全面処理:耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2)作条処理:は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
テロン	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	

<かんしょ> コガネムシ類

1. 生育中の処理は土壌が乾燥した状態では効果が著しく劣るので降雨後又はかん水後に施用する。
2. 生育期処理の適期は、年や栽培型により異なるがドウガネブイブイは7月上～下旬頃、アカピロウドコガネ・ヒメコガネは8月上～中旬頃である。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダントツ粒剤	I:4A	植付前	1回	全面処理土壌混和

<かんしょ> コガネムシ類幼虫

1. 生育中の処理は土壌が乾燥した状態では効果が著しく劣るので降雨後又はかん水後に施用する。
2. 生育期処理の適期は、年や栽培型により異なるがドウガネブイブイは7月上～下旬頃、アカピロウドコガネ・ヒメコガネは8月上～中旬頃である。
3. パイオトピア（スタイナーネマ グラセライ）は、コガネムシ類幼虫等に寄生するセンチュウを製剤にした生物農薬である（生物的防除法 4. 天敵資材による防除方法の項を参照）。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダイアジノンSLゾル	I:1B	植付前	1回	全面土壌混和又は畝立て前作条散布 全面土壌混和 作付前:全面土壌混和又は作条土壌混和、作物生育中:作条処理して軽く覆土
アクタラ粒剤5	I:4A	植付前	1回	
ダイアジノン粒剤5	I:1B	収穫30日前まで	3回以内	
アクタラ粒剤5		植付前	1回	作条混和 植溝又は作条土壌混和
トクチオン細粒剤F		植付前	1回	

<かんしょ> ヨツモンカメノコハムシ

1. 成虫、幼虫ともに主に展開葉を食害し、食害痕はチョウ（鱗翅）目害虫の初期被害と類似する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アクセルフロアブル	I:22B	収穫前日まで	3回以内	散布 散布 散布
コテツフロアブル	I:13	収穫前日まで	2回以内	
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	5回以内	

<かんしょ> イモコガ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スミチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	5回以内	散布

<かんしよ> エピガラスズメ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アグロスリン水和剤	I:3A	収穫7日前まで	5回以内	散布

<かんしよ> ハスモンヨトウ

1. ランネート45D Fは、薬剤の調整時や散布時に薬剤を吸引しないようマスク、メガネを必ず着用する。
2. ベネビアODを使用する場合、展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤は加用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレオフロアブル	I:UN	収穫7日前まで	2回以内	散布
プレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫7日前まで	3回以内	散布
マッチ乳剤	I:15	収穫14日前まで	2回以内	散布

<かんしよ> ナカシロシタハ

1. ランネート45D Fは、薬剤の調整時や散布時に薬剤を吸引しないようマスク、メガネを必ず着用する。
2. ベネビアODを使用する場合、展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤は加用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アニキ乳剤	I:6	収穫前日まで	3回以内	散布
トレボン乳剤	I:3A	収穫7日前まで	3回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫7日前まで	3回以内	散布
マッチ乳剤	I:15	収穫14日前まで	2回以内	散布

<かんしよ> 黒斑病

1. 主として種いもから伝染するが、ほ場では野ネズミ、ハリガネムシによる媒介が大きいので、これらの防除も必要である。
2. 種いもは健全いもののみを使用し無病の苗床用土を使用する。
3. 採苗時の苗は根元を5cm以上残し、高切りとする。
4. 貯蔵するいもは必ず健全で傷のないものだけとし、前年発病した貯蔵穴は使用しない。
5. 常発地では、種いもや苗を温度及び浸漬時間を厳守して温湯消毒する。ア 種いも…47～48℃の温湯に種いもを40分間浸漬し、冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。イ 苗…基部6～9cmを47～48℃の温湯に15分間浸漬する。漬し、冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。イ 苗…基部6～9cmを47～48℃の温湯に15分間浸漬する。漬し、冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。イ 苗…基部6～9cmを47～48℃の温湯に15分間浸漬する。
6. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベンレート水和剤	F:1(B1)	植付前	1回	20～30分間苗基部浸
トップジンM水和剤	F:1(B1)	植付前	1回	20～30分間種いも又は 苗基部浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	植付前	1回	種いも粉衣

<かんしよ> 立枯病

1. 本病は主として汚染土壌や被害茎葉の持ち込みによって伝搬するものと推定される。一度発生すると防除がきわめて困難なので、ほ場衛生や発生ほ場のまん延防止に努める。
2. 種いもは無発生地から採種する。
3. 多発生ほ場は他の作物に転作する。
4. 発生ほ場の茎葉、屑いもは伝染源となるおそれがあるので処分する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B	作付の10～15日前まで	1回	土壌くん蒸
クロピグ80	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドジョウピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドロクロール	I:8B		1回	土壌くん蒸
ダブルSTOPパー	I:8A・I:8B		1回	土壌くん蒸(30×30cm ごとの深さ15cmの穴に1 穴処理する。)
ソイリーン	I:8A・I:8B	作付の10～15日前まで	1回	耕起整地後、30cm間隔 のホリ状に深さ約15cm に所定量を注入し、直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビ ニール等で被覆する。

<かんしよ> 紫紋羽病

1. 被害いもは伝染源となるのでほ場外に持出し、焼却する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ガスタード微粒剤	I:8F	植付21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に 散布して土壌と混和す る
バスアミド微粒剤	I:8F	植付21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に 散布して土壌と混和す る

<かんしよ> 基腐病

1. 発病ほ場から採取した塊根は、外観が健全でも病原菌に感染している可能性があるため苗生産に使用しない。

2. 苗は株の地際部から5 cm以上切り上げて採取し、採苗当日に苗消毒を行う。採苗時のハサミはこまめに消毒（アルコールまたは火炎滅菌）する。
3. 排水が不良な場所で発病しやすいので、ほ場の排水対策を実施する。
4. 本病原菌は、かんしょ残渣で越冬し、翌年の一次伝染源になるため、罹病残渣をほ場外に持ち出し、処分する。
5. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
Zボルドー	F:M01(M)	発病前～発病初期	－	散布
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
クプロシールド	F:M01(M)	発病前～発病初期	－	散布
ジーファイン水和剤	F:NC	収穫前日まで	－	散布
フロンサイドSC	F:29(C5)	収穫30日前まで	2回以内	散布
ベンレートT水和剤20	F:1(B1)・F:M03(M)	植付前	1回	30分間苗浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	植付前	1回	30分間苗浸漬
トップジンM水和剤	F:1(B1)	貯蔵前～伏せ込み前	1回	30分間採苗用種いも浸漬
フロンサイドSC	F:29(C5)	植付前	1回	全面土壌散布
フロンサイドSC	F:29(C5)	植付前	1回	全面散布後土壌混和
フリントフロアブル25	F:11(C3)	植付前	1回	全面散布後土壌混和
フリントフロアブル25	F:11(C3)	植付前	1回	全面散布後土壌混和
フリントフロアブル25	F:11(C3)	植付前	1回	全面散布後土壌混和

<かんしょ> 紋羽病

1. 被害いもは伝染源となるのでは場外に持出し、焼却する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
クロピク80	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドジョウピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドロクロール	I:8B		1回	土壌くん蒸